



3D 点群計測の効率アップは 2 倍以上！

公園の現況測量で分かった『GTL-1000』の有用性

北海道札幌市の株式会社ハイデックス・和島様。東京支店も開設され、3D 点群計測に積極的な測量会社だ。今回 Laser Scanner Total Station『GTL-1000』を導入いただいたので、実際に現況測量をされている板橋交通公園へお邪魔してお話を伺った。折しも板橋区職員の方々に説明会を開かれており、使用している機材、『GTL-1000』はもちろん『GLS-2200』や UAV、台車に載せた『IP-S3 HD1』まで一同に会していた。

3D 点群計測の更なる効率化を目指して。

板橋区では、公園を安全に利用できるよう整備事業を施行中、3D データの活用について本現場の成果を検証し、今後の方針を決定されるそうだ。

さて、前述の通り既に様々な 3D 点群計測の機器をお持ちで多数の実績もある同社が、なぜ『GTL-1000』を導入されたのか。代表取締役の和島英貴様に伺うと「作業効率アップ



代表取締役 和島英貴様



(写真左から) 開発部長 佐々木康吉様
第 2 グループリーダー 川村憲弘様
第 6 グループ 前田健汰様

が目的です」と即答。「トラバース測量と 3D 点群計測を同時に行えることが魅力的でした」

外業も内業も効率アップを実感。

効果について和島社長は続ける。「従来は 2 班体制、トータルステーション班で基準点を設置し、スキャナー班で 3D 点群計測をしていました。『GTL-1000』であれば、1 班・1 台で全て行えます。費用と時間をトータルに考えれば、効率アップは 2 倍以上です」

現場での印象を第 2 グループリーダーの川村憲弘様と第 6 グループの前田健汰様に伺うと「様々な機器を使用していますが、『GTL-1000』の活用頻度は高いです。複雑な形状で樹木も多く、基準点を 40 点設置しスキャンしますから」。さらに公園という現場ならではのご苦労も。「利用される方が思った以上に多いのです。1 日の作業は人の少ない数時間に限られてしまうため、トラバースを回しながら同時に 3D 点群計測できる『GTL-1000』には大変助けられました」

また、開発部長の佐々木康吉様はデータ解析も効率化が図れたという。「MAGNET Collage に取り込むだけでデータが結合していますから作業がとても速く、しかも楽。実は『GTL-1000』を使用している別の現場も並行して解析していますが、そちらはデータを受け取るだけです。従来なら現地を知らないと難しかった解析が、『GTL-1000』で測ったデータなら、すぐに行えます」

路線や現況への効果に期待。

最後に『GTL-1000』の活用について和島社長に伺った。「路線測量や、市街地の現況測量への効果は大きいでしょう。基準点と細部を同時に詳細まで測れますから、今までの作業量を 100 とすれば 10 から 20 まで減らせると思います。そして素早く、当たり前のように 3D モデルで成果を提出すれば差別化にもなりますから、『GTL-1000』には大いに期待しています」



ユーザー名 : 株式会社ハイデックス・和島
URL : <http://www.hidex.co.jp/>
使用機種 : Laser Scanner Total Station GTL-1000
3D 点群処理ソフトウェア MAGNET Collage
取材協力 : 千代田測器株式会社
URL : <https://www.chiyodasokki.jp/>

『GTL-1000』
詳しい情報は



『MAGNET Collage』
詳しい情報は

